

## 株主メモ

## Shareholders Information

- 事業年度 毎年10月1日から翌年9月末日
- 定時株主総会 毎年12月開催
- 基準日 定時株主総会 毎年9月30日  
期末配当金 毎年9月30日  
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
- 株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
住友信託銀行株式会社
- 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲二丁目3番1号  
事務取扱場所 住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(郵便物送付先) 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10  
住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(電話照会先) ☎0120-176-417  
(インターネットホームページURL) <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>
- 証券コード 4809
- 公告方法 電子公告により行います。ホームページアドレスは次のとおりです。  
<http://www.paraca.co.jp/>  
ただし、電子公告によることができないやむを得ない理由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

### 【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の【特別口座について】をご確認ください。

### 【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、三菱UFJ信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。上記株主名簿管理人とはご照会先および住所変更等のお届出が異なりますのでご注意ください。

### ●特別口座に関するご照会先

(特別口座の口座管理機関) 三菱UFJ信託銀行株式会社  
(郵便物送付先) 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
(電話照会先) ☎0120-232-711

### ホームページのご案内



<http://www.paraca.co.jp/>

当社ホームページでは、豊富なインフォメーションを掲載しております。

今後も株主・投資家の皆様に向けて当社の情報を迅速に提供してまいりますので、どうぞご利用ください。



第15期 報告書 2010年10月1日~2011年9月30日

# Business Report 2011

パラカ株式会社

証券コード：4809

パラカ株式会社

※この報告書に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

管理部経営企画課 TEL：03(6230)2700 E-mail：ir@paraca.co.jp



Mothers



ごあいさつ

平素から当社の活動に多大なご理解、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。また、東日本大震災から9ヶ月が経過しましたが、被災された皆様に改めてお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

当社はリーマンショックの経験を踏まえ、不況やデフレ下においても底固い収益を確保できる企業体質を構築し、これに続き営業人員や営業所の増加による企業規模の拡大を図っておりました。PPI(パラカパーキングインデックス)も2月には3年数ヶ月ぶりに、3ヶ月連続前年比プラスとなり本格的回復基調となりつつありました。

東日本大震災は、まさにこの矢先に発生し、自然の猛威を目のあたりにし、人為の無力さを思い知らされると同時に「つながり」の大切さを痛感した一年となりました。

震災直後からの現場における対応は、情報共有や信頼関係など社員同志のつながりはもちろん、地域に密着した現地スタッフとのつながりなくして成せるものではありませんでした。駐車場用地をお借りしている地主の皆様、機器メーカー、保守会社など多くの方々からのご協力やご支援をいただき、金融機関からも実際には必要がなかったものの緊急融資の申し出をいただきました。また、駐車場を利用されるお客様へは停電時にご不便をおかけしたこともあると思います。心よりの御礼とお詫びを申し上げます。

当期の業績については4月28日に下方修正を行いました。現場の献身的な努力によって震災の影響を最小限に食い止め、経常利益・当期純利益は若干の減益となりました。欧米の債務や円高など問題が山積する環境にもかかわらず、当社株を保有し長いつながりをいただいている株主様の期待に沿うように、今期も営業力の強化によって新規開拓を加速し、業績の向上に努めて参ります。

今後ともご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2011年12月

代表取締役 内藤 亨

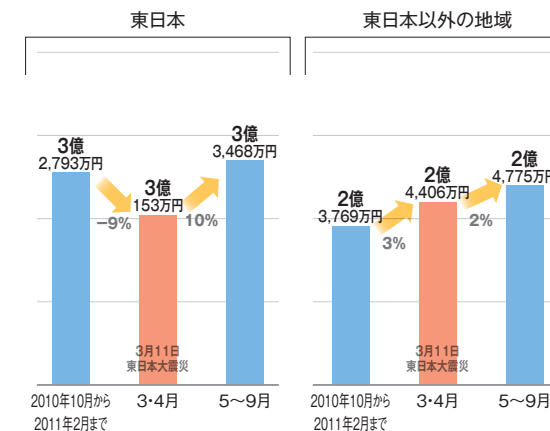
Q 震災の影響について

**A** まず、一年を震災前の5ヶ月、震災時の2ヶ月、震災後の5ヶ月に分け、それぞれの売上と売上総利益を見ていただくとその影響がよく分かると思います(右図)。東日本における3月・4月の2ヶ月間の月平均売上総利益は、それ以前に比べ23%も減少しています。東北地方に限るとこの傾向はより顕著でした。理由としては、一つには、東北新幹線がストップしたことによって新幹線駅前立地の駐車場へ大きな影響がありました。500台収容のある駐車場では、在車台数がゼロの時もあるほどでした。二つには、ガソリンの供給に支障をきたしたことによって、車での外出が手控えられたこと。三つには、余震や停電などからくる不安心理や自粛ムードからも外出が減ったことが挙げられます。

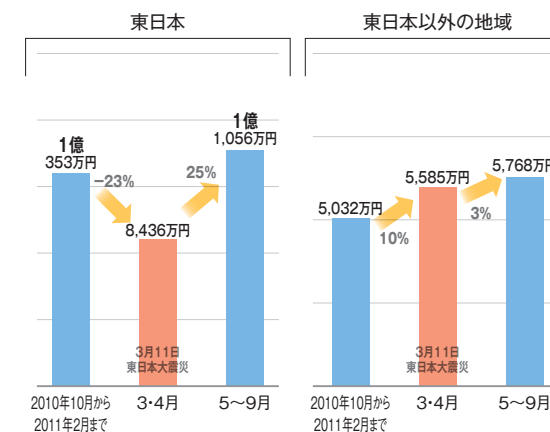
当社では幸いなことに、震災による人的被害はなく、物的被害も極めて軽微なものでした。基本的にコインパーキングは建物がなく、物的損害も発生せず、電力が回復したその日から運営できるため、震災に対しては強いビジネスだといえます。

震災前後における売上高と売上総利益の推移

売上の月間平均

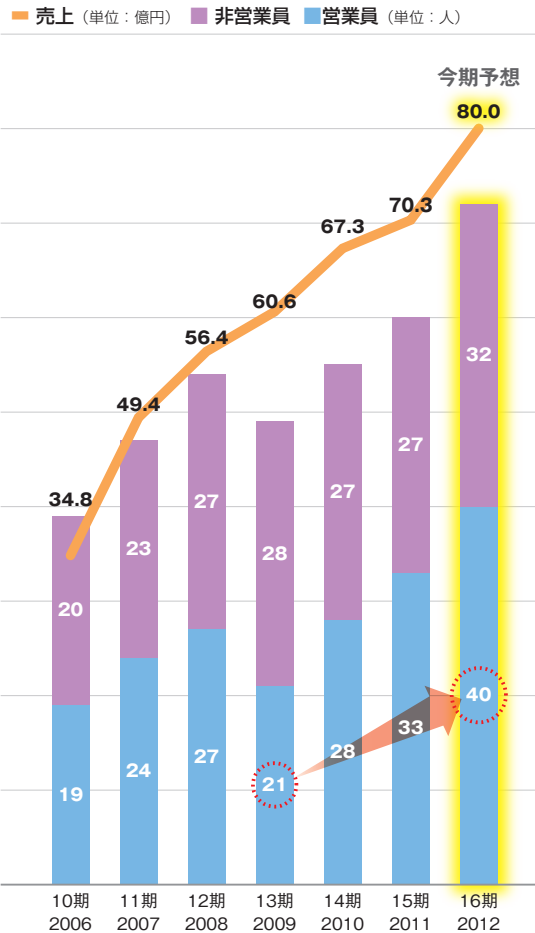


売上総利益の月間平均



積極的拡大ステージへ

営業員の増員



Q 一年を振り返っていかがでしたか

**A** 営業面について振り返ると、一方では短期的な東日本大震災への対応、他方では中期的な売上の地域バランス、この二つを両立させるような営業力の配分を行った一年でした。

当社の駐車場分布は、東日本が売上では58%、売上総利益では66%と東日本に偏りがあるなかで、全体としては積極的な営業展開を図り、中期的には徐々に西日本の比重も高めていくという姿を描いていました。12月に東日本に属する横浜営業所を開設したのですが、その後に震災が発生し電力の供給もおぼつかない状況になったため、西日本への計画を急遽前倒し、京都営業所を6月に開設しました。その後東北地域の急回復を確認でき、今後の復興地域における新規開拓の拠点とするために、仙台営業所を9月に開設しました。これまでの営業拠点4カ所から、当期だけで3カ所の営業所を新規開設し7カ所に増やしました。営業員の増員については、09年9月末の20名程度から11年9月末には40名へ倍増する計画でしたが、半年遅れの12年4月になる予定です。営業所の開設によって地元とのつながりを強め、新規開拓の加速をしていきたいと思っています。

Q 新規開拓の状況、それから、サイクルパーク(駐輪場)も伸びているようですが

**A** 新規開拓車室数は、2,684(純増は1,916)車室で、前期の1,661(純増は957)車室に対し、大きく伸ばすことができました。その結果、残高は13,450車室となり、前期の11,534車室に比べ16.6%増加しました。しかし、ここ二年間の営業員数の増加割合と比較した場合には、決して十分な伸びとは思っていません。当社は新卒学生を中心とした採用をしていますが、特に入社3年以内の若手営業社員の早期育成と中堅営業社員の地力向上によって、この伸びを高めたいと考えています。

サイクルパーク(当社での駐輪場名)は売上規模が小さいため、事業区分では「その他」に含めています。09年末の2,379台から当期末には3,010台へと、631台、26.5%の増加となっています。クルマと違ってサイクルパークは、ほぼ駅前立地に限られる反面、クルマでは入っていけない狭い道路に面していたり、間口の狭い地型の土地でも運営可能という特徴があります。営業員が対象候補地の適性を判断して開拓した結果、駐輪場の増加に繋がりました。



**Q** 管理部門についてはどうですか

**A** 今後の管理車室数の増大に対応するため、前期に一年がかりで基幹システムを入れ替え、各種データの一元管理ができる体制を整えました。当期は、一つには、その基幹システムのデータベースへ駐車場精算機データを入力する際、その大幅な省力化を行いました。二つには、そのデータを加工し、駐車場の収支予測や料金の最適化、経営上の判断に役立つ各種指標を取り出せるようにするなど、多くの自社ソフトウェア(ペガサス PEGASUS: Paraca Enterprise Govern and Support System)を開発しました。私が朝出社して一番最初に見る指標は、駐車場売上の今月末着地予想で、カーナビの到着時刻予測に似たものです。日次で着地予想が変化するので、ここから日本全体の景気や地域別の景気動向を読み取り、経営判断に活かしています。仙台営業所を開設したのも、いったん減少した東北地域の駐車場売上が急回復に転じたことが確認できたからです。

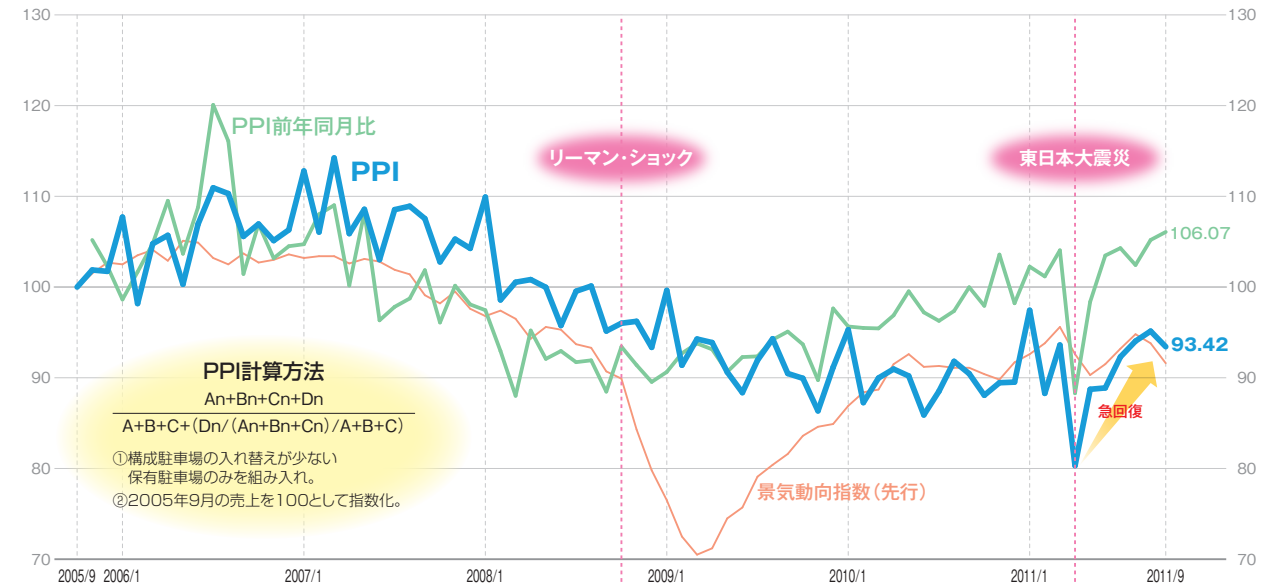
**Q** その他のトピックスは

**A** 連結子会社であった有限会社神谷町パークを吸収合併したこと、札幌101パーキングの大規模改修です。有限会社神谷町パークは、2003年に当初特別目的会社として設立し、匿名組合契約を利用した資金調達手段の一つとして機能していました。しかし、その後の当社の資金調達力の向上、会計制度の変更等によりその役割が終了したため、当社に吸収合併することとしました。

札幌101パーキングは当社がマザーズに上場した2004年に取得し、今年で築27年となります。非常に収益性の高い自走式8階建ての大型駐車場ですが、今回の大規模な修繕工事(期間2011年8月~11月)により適切なメンテナンスを行えば、さらに30年は当社の収益に貢献できそうです。出入口の改善等を行い、駐車しやすさを向上させるとともに、エレベーターの交換、外装工事により視覚的にも見栄えが良くなり、今後の売上増加も期待できると考えております。

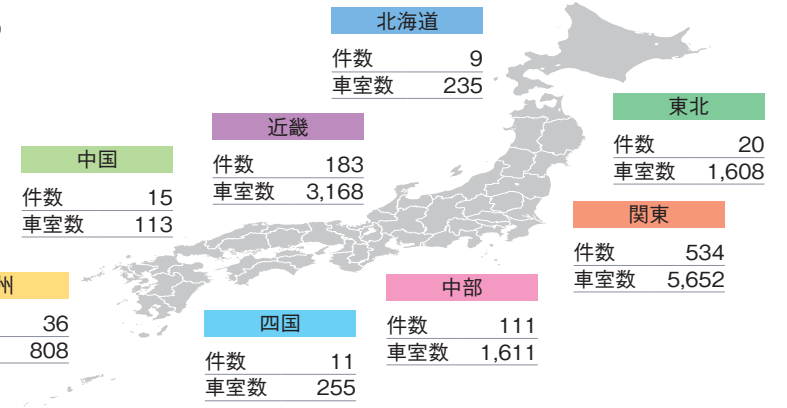
**PPIの推移**

PPI: パラカ・パーキング・インデックス(保有駐車場=定点観測指数の売上指数)



**駐車場の展開状況** (2011年9月30日現在)

	件数	車室数
賃借駐車場	820	9,898
保有駐車場	99	3,552
合計	919	13,450



CSR活動報告

当社は、地球温暖化ガスの「削減と吸収」による両面からの環境貢献というコンセプトに基づき、2007年より4年間、森林保全事業を行うNPOへの寄付及び社員全員による植林と間伐活動に取り組んでまいりました。

本年は、東日本大震災の発生に鑑み、植林間伐活動を中止する一方で、会社と役職員による義援金の拠出と被災地でのボランティア活動を行い、心ばかりの協力をさせていただきました。

2007年

活動初年度となる2007年には、「地球に向き合う」というテーマのもと、栃木県矢板市「山縣農場」で植林と間伐作業を行いました。「山縣農場」は、1886年(明治19年)に山縣有朋公爵が開場した、スギ、ヒノキ、アカマツ等からなる広大な森林です。



2007年～「モミジ」を植林するところ

2008年

2年目の2008年には、「森を感じる」と題し、三井物産株式会社が国内に保有する73ヶ所の社有林の一つである千葉県君津市の「亀山山林」にて、植林と間伐作業を行いました。



2008年～間伐したスギの丸太とともに

2009年

東京都西多摩郡檜原村にある「田中林業多摩森林」で森林の下刈(注)を行いました。江戸初期から続く田中林業では、伐ったら植えるオーソドックスな「循環林業」と環境的価値を糧とする「森林管理業」を組み合わせた森林業を目指しています。



2009年～雨の中での下刈作業

(注)植林した苗木周辺の雑草を刈り取り、苗木の成長を助けるもの

2010年

初年度に活動した「山縣農場」に再び伺いました。前回植林したモミジ、カエデ、コナラ、サクラ、カキの木々が順調に成長しており、また新たにコブシ、カエデ、コナラの植樹と杉林の間伐を行いました。



2010年～山縣農場内の森林にて

今後も本業である駐車場運営による「削減」とCSR活動による「吸収」を進め、社会的貢献を行っていきたく考えています。

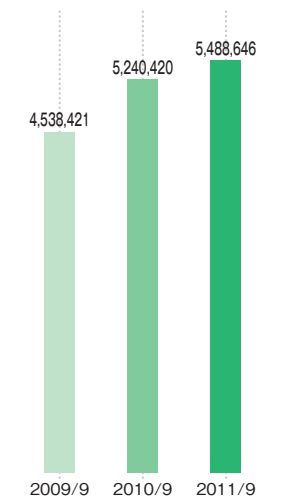
●賃借駐車場

売上高  
5,488百万円

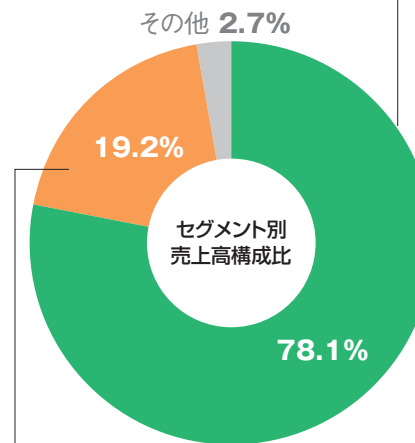
(前事業年度比4.7%増)

当事業年度においては136件1,900車室の純増となり、9月末現在においては820件9,898車室が稼働しております。車室数の順調な増加により、売上高は5,488,646千円(前事業年度比4.7%増)となりました。

賃借駐車場売上高(単位:千円)



名古屋市長第2(オレンジタウン)



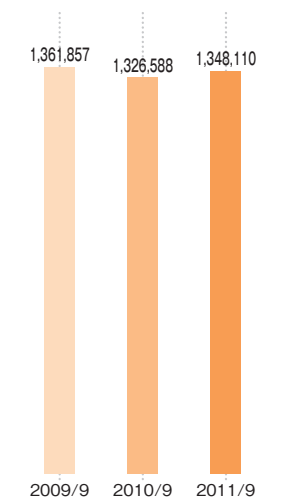
●保有駐車場

売上高  
1,348百万円

(前事業年度比1.6%増)

当事業年度においては1件16車室の純増となり、9月末現在においては99件3,552車室が稼働しております。売上高は1,348,110千円(前事業年度比1.6%増)となりました。

保有駐車場売上高(単位:千円)



札幌101パーキング  
2011年11月リニューアルオープン

